

令和2年度 市民提案事業 活動報告書

市民との協働によるまちづくり提案事業



令和3年6月
(八女市役所 企画政策課)

令和2年度市民との協働によるまちづくり提案事業採択団体

	団体名	活動の名称	活動の概要	ページ
1	NPO法人がんばりよるよ星野村	竹林整備と竹資源の活用	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず事業中止	
2	いにしえの道を復活させる会	いにしえの道を復活させるプロジェクト	上陽町下横山地区からグライダー山を通して久留米市草野町に繋がるいにしえの道を、トレッキングコースとして活用し、イベントを開催する。また、環境の整備や案内板の設置、周知活動を行う。	1
3	八女ファミリー林業塾	八女ファミリー林業家育成事業	地域の森林を長期的に管理し、守り育ていく林業家（＝ファミリー林業家）を育成することを目的とした実技・演習を行う。	3
4	劇団「大藤」	「剣ヶ淵物語」再興プロジェクト	黒木町剣ヶ淵付近に「剣ヶ淵物語」の案内板を設置し、ランドマークとして整備する。また、案内板設置記念として、講話とDVD上映会を実施する。	5
5	Team Culture Box	「黄金の茶室 inHACO」からの八女文化の発信	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず事業中止	
6	八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会	寄口橋（2連石橋）架設100周年記念及び日本の石橋を守る会全国大会開催事業	寄口橋100周年記念・特別企画を開催する。そのほか、ミニ石橋づくりや、石橋めぐりなどのイベントを開催する。	7
7	一般社団法人八女青年会議所	Let's Innovation ～3つのSが地域の未来を切り拓く～	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず事業中止	
8	星野未来塾	星野村で星のソムリエっ子を育てよう	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず事業中止	
9	yame-C-style	あんどん2020	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず事業中止	
10	特定非営利活動法人 山村塾	八女茶山おどりプロジェクト	奥八女芸農プロジェクトによって創作された「八女茶山おどり」の普及活動として、体験ワークショップを実施する。また、八女茶山おどりの解説資料として、動画を作成し配信する。	9
11	ひまわりの会 八女・筑後	ひまわりの会 八女・筑後	不登校の若者や不登校の子を持つ保護者を集めた座談会を開き、情報共有を図る。また、有識者を招いた講演会を開催する。	11

令和2年度市民との協働によるまちづくり提案事業 活動報告書

○団体名～活動名称～

いにしえの道を復活させる会

～いにしえの道を復活させるプロジェクト～

○団体情報

<設立目的>

六十数年前まで使われていた、上陽町下横山地区からグライダー山を通して草野町までつながる交易の道をトレッキングコースとして復活させ、多くの人に歩いてもらうことを目的として設立しました。

<団体の構成員>

35 名

<設立年月日>

平成 30 年 7 月 14 日



○これまでの活動実績

交易の道として歩く人がいなくなって、60 年程経過して、わからなくなっていた道を見つけ出して整備し、2019 年 11 月「第 1 回いにしえの道 トレッキング」開催

○活動の概要

いにしえの道を歩く方が道に迷わないように案内板を設置したり、年に数回草刈りを行い、歩きやすいようにコース整備につとめている。

○具体的な活動内容

1. スケジュール

日程	活動内容（具体的に）	活動場所	参加者数	
			従事者	参加者
2020 年 6 月 21 日	いにしえの道グライダー山コース整備 草刈り作業	グライダー山登り口	名	5 名
2020 年 10 月 10 日	いにしえの道 桑川内コース整備 草刈り作業	桑川内コース耳納 スカイライン下	名	5 名
	その他数回、案内板設置や除草シート敷設 作業		名	名
2020 年 11 月 23 日	第 2 回いにしえの道トレッキング開催	グライダー山	13 名	16 名

2. 活動の成果（活動を通して得られた効果のほか、工夫した点などを記載してください。）

上陽町下横山の山間地域から草野町までの交易の道であった「いにしえの道」を復活させて、トレッキングコースとして整備、イベントとして第2回いにしえの道トレッキングを開催し、道の存在を多くの方に知っていただく事ができ、個人でコースを歩かれる方々も増加している。また新しく桑川内コースも開拓、整備して、周回コースとすることができた。

また、上陽支所に依頼し、観光小冊子の更新時などに、いにしえの道を追加して印刷していただく予定である。

3. 課題（活動を通して見えてきた課題を記載してください。）

いにしえの道を復活させる会の新規会員の加入がないので、今後新しい会員の募集方法など検討して行くべきである。

○今後の方向性（今後の予定やどのように展開していきたいか（目標など）を記載してください。）

グライダー山から草野町の発心公園や若宮八幡へ下るコースがあるので、久留米市側を含めた上陽町下横山から草野町までの全体図を作成し、多くの方に歩いていただきたい。

令和2年度市民との協働によるまちづくり提案事業 活動報告書

○団体名～活動名称～

八女ファミリー林業塾

～八女ファミリー林業家育成事業～

○団体情報

<設立目的>

中山間地では高齢化や人口流出により地域の担い手がいなくなっている。大きな理由は生活できる安定した産業が無い事で地域の大きな面積を占めている森林を活用し地域を守りながら生活していくファミリー林業家を育てる事で中山間地域の活性化を図りたい。

<団体の構成員>

5名

<設立年月日>

令和元年12月1日



○これまでの活動実績

令和元年度

- ・創立記念講演会
- ・間伐施業体験
- ・壊れない作業道づくり研修

令和2年度

- ・ユンボ特別教育
- ・チェーンソー特別教育
- ・間伐施業体験
- ・壊れない作業道づくり研修
- ・関係山林視察
- ・木材市場見学

○活動の概要

林業は難しいとあきらめている方や山は持っているがどうしていいか分からないという方々を中心に林業に関心のある仲間を集い、本格的な”小さな林業”自伐型林業を学べる活動を行う。令和2年度はユンボとチェーンソーの修了証を取得できる内容を組み、それらを使ってより実践的に学べるものとした。

○具体的な活動内容

1. スケジュール

日程	活動内容（具体的に）	活動場所	参加者数	
			従事者	参加者
12/12・13	ユンボ特別教育	そよかぜ 星野村研修林	5名	6名
12/19・20	チェーンソー特別教育	そよかぜ 星野村研修林	5名	5名
12/27	間伐施業体験 伐倒・造材を中心に実戦形式での施業体験	星野村研修林	5名	10名
12/28・29	橋本光治先生による壊れない作業道づくり研修	星野村研修林	5名	14名
2/28	自伐展開している関係山林の視察と木材市場の見学	株アサモク社有林 九州木材市場	5名	8名
3/7	橋本光治先生による壊れない作業道づくり研修見学	下益城郡美里町有林	5名	5名

2. 活動の成果（活動を通して得られた効果のほか、工夫した点などを記載してください。）

前年度はチェーンソーもユンボも扱えない塾生が大半で、なかなか実際に自分でできない状況がほとんどだったが、それを踏まえて今年度の最初にそれぞれの修了証がとれるようにし、その後さっそく実際に実践できるという運びにできたことは効率的で塾生の成長や理解を助けるものになったと考えられる。

現在の林業は大規模な施業で効率化を重視し、大型林業機械、大型の重機を山林に入れての施業、具体的には短伐期（50年）での皆伐施業が多く、近年の豪雨により、山腹崩壊や、一回だけ使用する作業道が壊れてきている実態を踏まえ、塾生は今後、個人や家族でやれる小規模な環境保全型で優良木を未来の世代に引き継いで行ける、持続可能な自伐型林業が、今後の日本の林業にいかにふさわしいか理解してもらえた。

3. 課題（活動を通して見えてきた課題を記載してください。）

現状は主に資格取得、知識の習得等に終わっているため、実際の施業においてはステップアップの研修が必定。

バックホー作業道開設、チェーンソーによる伐倒、玉切り造材技術、林内作業車での搬出技術のステップアップ習得を行うための研修予算が必要。

○今後の方向性（今後の予定やどのように展開していきたいか（目標など）を記載してください。）

自伐型林業の実践を視野にしたこれまでの塾生の方々には大方チェーンソーとユンボの修了証を取得して頂けた。令和2年度内の活動でもそれらを生かした日程を組んで消化できたが、今後はそういった実践編といった活動により重きを置ければよいと考える。

令和2年度市民との協働によるまちづくり提案事業 活動報告書

○団体名～活動名称～

劇団「大藤」

～「剣ヶ淵物語」再興プロジェクト～

○団体情報

＜設立目的＞明るく、元気で、楽しく、仲良
くをモットーに演劇活動を通じ、個人の資質
を向上させ、個人の人生を豊かにするために
活動することを目的とする。

＜団員の構成員＞

15名

＜設立年月日＞

平成27年12月1



○これまでの活動実績

平成28年 1月～3月 FM八女 ラジオ劇「藤の記憶」制作（5月放送）
4月15日 黒木大藤神酒召せ式出演
10月8日 黒木町社会福祉大会ミュージカル劇「藤の記憶」上演
11月27日 ワイワイフェスタ参加 「葉っぱのフレディ」朗読
12月21日 劇団大藤 感謝コンサート開催
平成29年 9月24日 藤の記憶ダイジェスト国民文化祭参加プレ公演
11月29日 国民文化祭「奈良2017」「藤の記憶ダイジェスト」上演
平成31年 3月9日 「朗読と音楽の心あたたまるTOKI」重松清作品朗読劇上演
令和1年10月20日 ていこい白木祭参加「小編 黒木剣ヶ淵物語」上演
令和2年1月19日 令和元年度市民との協働によるまちづくり提案事業
「小編 黒木剣ヶ淵物語」上演

○活動の概要

九州南朝最期の皇子「良成親王様」とその妃といわれる「姫御前様」の地元に言い伝えられる悲恋を
ミュージカル劇として上演した。
また地元八女の歴史や民話等をオリジナル脚本で上演し「故郷八女」の素晴らしさを市民に伝え
ることを活動としている。

○具体的な活動内容

1. スケジュール

日程	活動内容（具体的に）	活動場所	参加者数	
			従事者	参加者
2・7・1	「剣ヶ淵案内板」設置	八女市黒木町木屋1番1	2名	5名
3・1・13	黒木小唄・黒木音頭練習 歌唱指導 田中基行・伴奏 小山啓一	黒木町ふじの里	12名	
3・3・3	同上	同上	12名	
3・3・17	同上	同上	12名	
3・3・19	「剣ヶ淵案内板設置記念」の集い会場見学及び機械器具点検上映リハーサル	同上	6名	
3・3・26 18時～20時 10分	「剣ヶ淵案内板設置記念」の集い～講話とDVD上映会本番 講話「猫尾城について」お話嶋富司・馬渡惇二 DVD「小編 黒木剣ヶ淵物語」 上映 黒木音頭、黒木小唄披露	同上	10名	18名

2. 活動の成果（活動を通して得られた効果のほか、工夫した点などを記載してください。）

「剣ヶ淵案内看板」を設置することで、地元を訪れる人たちに「剣ヶ淵」の歴史を知らせることができたし、これからも広めて行くことができると思う。

また、講和とDVD「小編 黒木剣ヶ淵物語」の上映会では、黒木町外からも参加者があり、初めて知る「剣ヶ淵」の歴史に感動しておられた。また知っている参加者も再度郷土の歴史に誇りを感じたと感想を述べられていた。

今回は、コロナウイルス感染対策を重点的に工夫しました。

3. 課題（活動を通して見えてきた課題を記載してください。）

コロナウイルス感染の収まりが見えにくい状況下の今、私たちの表現活動を今後どのような形で継続していくべきかが大きな課題となっている。しかし、このような状況下においても、消極的になるのではなく、感染対策を充分にとり、どういう形でなら安心、安全に活動、作品上演できるかを考えて行きたいと思う。

○今後の方向性（今後の予定やどのように展開していきたいか（目標など）を記載してください。）

今後は、表現活動の発表方法をオンライン上で行う等、挑戦していこうと思う。

そして、このコロナウイルスが収束した後、次回作は八女古代の英雄「筑紫の君 磐井」を主人公にしたオリジナルミュージカル劇を上演したいと思う。そのために今はしっかりと脚本をつくり、演者は各自で今までの努力を無駄にしないよう練習を続けて行きたいと思う。

令和2年度市民との協働によるまちづくり提案事業 活動報告書

○団体名～活動名称～

八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会

～寄口橋（2連石橋）架設100周年記念及び日本の石橋を守る会全国大会開催事業～

○団体情報

<設立目的>

本会は、八女市上陽町のひふみよ橋及びその文化の価値を大切に、守ることを目的とする。

<団体の構成員>

58名（※A会員）

<事務局>

ほたと石橋の館

<設立年月日>

平成24年9月18日



○これまでの活動実績

- ・H24.9.18 設立総会（会員数109人）
- ・H24.9.19 「ひふみよ橋」の保全を求める陳情書提出
- ・H25.6.30 上陽の里山風景についての講演会
- ・H27.5.16 日本の石橋を守る会・上陽町大会
- ・H27.12.16 八女上陽のシンボル「ひふみよ橋」の市文化財指定と保全を求める要望書提出
- ・H28.2.29 手製のゴンドラを使って「洗玉橋」の除草作業
※以後年に1～2回程度実施（H29.2.18 H29.7.29 H30.5.21 R1.8.17）
- ・H30.3.3 大瀬橋架設100周年記念特別企画実施

○活動の概要

- ・石橋清掃活動（洗玉橋・寄口橋・宮ヶ原橋）
- ・石の文化に学ぼう（上陽北浜学園社会科学習支援・上陽お宝発見ゲーム開催）
- ・「祝 寄口橋100周年記念」横断幕設置
- ・上陽咲さるこ協会との連携（ひふみよ橋コース）
- ・寄口橋架設100周年記念・特別企画実施
（100周年記念橋渡し・石橋案内・和太鼓童衆演奏・記念講演・ミニ石橋づくり体験等）
- ・PR活動（星野川でカヌー体験・ひふみよ橋だより発行）

○具体的な活動内容

1. スケジュール

日程	活動内容（具体的に）	活動場所	参加者数	
			従事者	参加者
年 4 回実施	石橋清掃活動（洗玉橋 8/1・2/6 寄口橋 2/18・宮ヶ原橋 3/10）	洗玉橋・寄口橋 宮ヶ原橋	27 名	27 名
年 3 回実施	石の文化に学ぼう ・上陽北浜学園社会科学習支援 1/21 ・上陽お宝発見ゲーム 2/13 ・ミニ石橋づくり 2/28	ほたと石橋の 館及びその周辺	1 名	75 名
12 月～3 月	「祝 寄口橋 100 年記念」横断幕設置	寄口橋周辺	3 名	3 名
11/29	上陽咩さるこ協会との連携 ～ひふみよ橋コース～散策	ひふみよ橋周辺	1 名	22 名
2/28	寄口橋架設 100 年記念・特別企画	ほたと石橋の館及 び寄口橋とその周辺	9 名	85 名
年 3 回実施	PR 活動 ・星野川でカヌー体験 10/11 ・インフラメンテナンス国民会議 パネルディスカッション参加 10/21 ・ひふみよ橋だより発行 3/31	ほたと石橋の 館及び寄口橋と その周辺 福岡国際会議場	1 名	168 名

2. 活動の成果（活動を通して得られた効果のほか、工夫した点などを記載してください。）

地域の宝である石橋群を活かした地域活性化の取り組みが求められておりましたが、寄口橋 100 周年記念事業はその大きな布石となりました。石橋の素晴らしさをたくさんの人に知ってもらうことができただけでなく、この地に石橋を架けた先人の熱い想いを共有し、歴史的な文化遺産としての価値を見直し、次世代に残していくためにどうすればよいか、皆で考えていくよい機会となりました。開催にあたっては、参加者の検温、消毒はもちろんのこと、イベントは全て屋外で、密にならないようスペースも確保、講演会もウッドデッキで実施。昼食はお弁当にし、各自好きなところで食べることができるように工夫し、レストラン内のテーブルはアクリルパネルで仕切る等感染防止対策を講じ実施しました。

3. 課題（活動を通して見えてきた課題を記載してください。）

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、当初 5 月に予定していた日本の石橋を守る会総会・大会は中止となりました。八女市上陽町を全国に PR できるチャンスでしたが、残念です。
寄口橋架設 100 年記念・特別企画については延期することとし、開催時期について検討。東京から講師を招く予定でしたが、福岡県内で調整変更し、感染症対策を万全にし、なんとか 2 月 28 日に開催することができました。日本の石橋を守る会からも熊本より 8 名参加がありました。今後しばらくこのウィルスと付き合っていかなければならないのであれば、イベント開催時に様々な地域の人達が参加できるよう、ZOOM 等を活用したネット配信も検討していく必要があるのかもしれません。

○今後の方向性（今後の予定やどのように展開していきたいか（目標など）を記載してください。）

今後、八女市役所上陽支所、上陽地区まちづくり協議会、観光協会などの関係機関と連携を図りながら、石橋を活かした観光ルートの開発に取り組みたいと考えています。
また、日本の石橋を守る会とも連携を取り、全国から八女の石橋に関心を持ってもらえるよう、PRしていきたいです。

令和2年度市民との協働によるまちづくり提案事業 活動報告書

○団体名～活動名称～

特定非営利活動法人山村塾

～ 八女茶山おどりプロジェクト ～

○団体情報

<設立目的>

この法人は、都市と農山村の住民が、その連携交流を通じて農林業及び農山村の環境に関する役割を認識するとともにそれを学び実践することによって、農山村の振興、環境の保全、食物の安全、健康ひいては持続可能な社会の構築に寄与することを目的とする。

<団体の構成員>

正会員 61 名、賛助会員 73 名

<設立年月日>

1994 年 4 月 1 日（法人 2014 年 3 月 11 日）



○これまでの活動実績

1994 年に任意団体として設立。八女市黒木町笠原地区を中心に、都市住民と地域住民の交流と連携によって、棚田や森林といった豊かな農山村環境の保全活動に取り組んできた。2011 年に NPO 法人、2017 年に特例認定、2020 年に認定 NPO 法人。

1997 年から国際ボランティア合宿を開始し、国内外から長期滞在のボランティアを受け入れる。2016 年から九州大学ソーシャルアートラボと連携してアート事業を開始。2019 年、滞在するアーティストとボランティアが小規模多機能ホームよかよかや地域住民らに昔の暮らしや農作業の思い出を聞き、それをもとに八女茶山唄にあわせた「八女茶山おどり」を創作した。

○活動の概要

八女茶発祥の地として八女茶文化を育んできた笠原地区を拠点に、2019 年奥八女芸農プロジェクトによって創作された「八女茶山おどり」の推進を行い、それらを通じて美しい農山村景観の保全とそれを支える農林業と農山村地域の持続可能な暮らしについて考える機会を得た。具体的な活動内容は次の通り。

八女茶山おどり推進会議（計 4 回）、八女茶山おどり普及活動（1 回）、

八女茶山おどり解説資料制作（パンフレット 500 部）

解説映像制作（YouTube 動画、日本語版と英語字幕版の 2 本）

※日本語版 <https://youtu.be/4QZg9QkoZ4I> ※英語字幕版 <https://youtu.be/fOm84Cuc0rY>

○具体的な活動内容

1. スケジュール

日程	活動内容（具体的に）	活動場所	参加者数	
			従事者	参加者
8/28	第1回八女茶山おどり推進会議	えがおの森 及びオンライン	3名	3名
9/5	第2回八女茶山おどり推進会議		1名	3名
10/3	第3回八女茶山おどり推進会議		2名	3名
2/25	第4回八女茶山おどり推進会議		2名	2名
3/24	八女茶山おどり普及活動	小規模多機能ホームよかよか 及びオンライン	3名	18名

2. 活動の成果（活動を通して得られた効果のほか、工夫した点などを記載してください。）

- ・八女茶山唄・八女茶山おどりの普及に関する会議を通じ、これからの茶文化・農村文化を考えた。
- ・ボランティアや九州大学ソーシャルアートラボの協力を得て、八女茶山おどり普及のための踊り解説資料、YouTube 映像を制作した。
- ・笠原地区にある高齢者福祉施設（小規模多機能ホームよかよか）の皆さんに対し、制作された解説資料・映像を紹介し、八女茶山唄と八女茶山おどりの体験ワークショップを行った。解説映像やオンライン会議ツールは好評で、今後も活動の継続が期待される。

3. 課題（活動を通して見えてきた課題を記載してください。）

- ・コロナ禍によって人が集まる機会が制限され、会議やイベントの調整に手がかかっている。新たな協力者に声をかけて共に取り組む、広くイベント参加を募るといったことが難しく、すでに関係性のあるメンバーによって事業に取り組まざるを得なかった。

○今後の方向性（今後の予定やどのように展開していきたいか（目標など）を記載してください。）

- ・令和2年度に訪問した「小規模多機能ホームよかよか」では、健康づくりの一環として定期的に「八女茶山おどり」を行うことが検討されている。連携を継続したい。
- ・八女市内で数回の「八女茶山おどり」および「八女茶山唄」の体験ワークショップを実施し、少しずつ体験の輪を広げていきたい。
- ・活動を通じ八女茶文化を育んできた農山村の暮らしや風景を考える機会につなげたい。

令和2年度市民との協働によるまちづくり提案事業 活動報告書

○団体名～活動名称～

ひまわりの会 八女・筑後

～ひまわりの会 八女・筑後～

○団体情報

<設立目的>

子育て自分育ての応援団。子育てをする中で様々な悩みを持つ家族や子ども達とつながり、共に成長していくことを目的とする。

<団体の構成員>

約20名

<設立年月日>

令和元年11月11日



○これまでの活動実績

特になし

○活動の概要

学校を選ばない子どもや保護者の支援については、広域的な連携が不足しており、支援が必要な家族になかなか情報が届いていない。自治体の垣根や、行政や民間といった枠を超え当事者の視点から必要な事業を行なう。

○具体的な活動内容

1. スケジュール

日程	活動内容（具体的に）	活動場所	参加者数	
			従事者	参加者
2020/4/12	座談会 「～こどもの味方はあなたの味方～頼りになる相談支援者たち子ども達を支援する仕組みについて」 ※コロナ感染予防のため中止	—	—	—
2020/5/10	座談会「ひとりひとりの子どもによりそって」 ※コロナ感染予防のため中止	—	—	—
2020/6/14	講演会「～心がかぜをひくとき-“安心感”と自立-～」 ※コロナ感染予防のため中止	—	—	—

2020/7/11	座談会 「～こどもの味方はあなたの味方～頼りになる相談支援者たち子ども達を支援する仕組みについて」 福岡県発達障がい者支援センターあおぞらセンター長公文眞由美先生、臨床心理士の吉村春生先生を招いて開催した。 (準備) 12:00～13:30 (座談会) 13:30～15:30	おりなす八女	5名	16名
2020/8/1	「いろんな生きかたがある！面白い大人に会いに行こう～」天空の茶屋敷訪問 ※コロナ感染予防のため中止	—	—	—
2020/8/16	# 不登校は不幸じゃない in 八女・筑後 # 不登校は不幸じゃない全国イベントに参加。呼びかけ人の小幡和輝さんの目メッセージをオンラインで視聴。不登校・ひきこもり経験のある若者二人に参加してもらって座談会を行なった。 子どもたちは、別室の子どもルームでゲームや卓球などをして遊んだ。 (準備) 12:00～13:00 (イベント) 13:00～15:00 	おりなす八女	6名	大人 約20名 子ども ルーム 約10名
2020/9/6	こどもが幸せな未来を築く力をつける理想の学校づくり～ ※台風のため延期	—	—	—

2021/10/10	～自分らしい学び方をみつけよう～「全日制じゃない高校」説明会&相談会 定時制高校: 3校 通信制高校: 4校 全通併修: 1校 参加。 (準備) 10:00～13:30 (説明会) 13:30～15:30 	八女文化会館	13名	約40名
2020/11/7	みんな違ってみんないい講演会「心が かぜをひくとき-“安心感”と自立-」講師： 臨床心理士 吉村春生先生 (準備) 12:00～13:30 (講演) 13:30～15:30 	おりなす八女 小ホール	8名	約65名
2020/12/12	トークライブ～学校に行かなくても学 ぶことで自分の未来を豊かにできる～ シンガーソングライター：吉田祥吾 (準備) 10:30～13:30	八女社会福祉協 議会 上陽支所	約10名	約30名

	(トークライブ) 13:30～15:30 			
2021/1/16	みんな違ってみんないい講演会「～こどもが幸せな未来を築く力をつける 理想の学校づくり～」 WING SCHOOL 校長 田上善浩先生 (準備) 12:00～13:30 (講演) 13:30～15:30 	おりなす八女 小ホール	約 8 名	約 8 0 名
2020/2/20	こどもマルシェ ※コロナ感染予防のため中止	—	—	—
2020/3/13	子どもの心の奥の声が聴こえます 言葉・子育てアドバイザー 木下律子先生 (準備) 12:00～13:30	おりなす八女 小ホール	6 名	約 5 0 名

	(講和) 13:30～15:30 			
--	---	--	--	--

2. 活動の成果（活動を通して得られた効果のほか、工夫した点などを記載してください。）

- ・事業についてのチラシを3回、八女市、広川町、筑後市の公立の全小中学生、南筑後管内の適応指導教室などに配布した。会の考え方や存在について、周知することができた。
- ・コロナ感染予防のため、会場に来なくてもオンラインで参加できるハイブリッド型の講演会を二回実施した。
- ・みんなちがって みんないい事業の参加した方からの声（一部）
「まずは親が笑顔で元気でなければー、って思います」
「親の会は大事だと思った」
「現状は親の会だけが横断的な情報を提供できる場になっている。学校が情報をくれない（知らない）」
「子どものサインを見過ごしていたことに気づき、今後の生活につなげていこうと思います」
「どうしても社会に出た時のことを考えて、少しでもルールや社会性をもてるよう接していたけど、甘える場を作ってあげることが大切だということが分かって、今後の支援に役立てたい」

3. 課題（活動を通して見えてきた課題を記載してください。）

- ・保護者の「話を聴く」場が必要だということがはっきりした。今後は個別の対応も大事にしていきたい。事業で出会えた方は、ひまわりの会八女・筑後の定例会にお誘いし、必要に応じて各相談機関や子どもの居場所を紹介していく。
- ・民生委員や社会福祉協議会スタッフなど福祉分野からの参加者はあったが、学校現場や教育行政関係者の参加が少なかった。学校や教育行政との連携をさらに進めていきたい。
- ・オンライン講演会の際に、音声聞こえなくなる、動画が流れないなどのトラブルがあった。今年度の反省点を踏まえて改善したい。

昨年度作成した会のパンフレットを配布しつつ、福祉関係者や教育関係者とも連携して、困っている保護者や子ども達に相談先や子どもの居場所情報が届くようにしていきたい。

教育機会確保法の存在や多様な学び方や生き方があることを地域に伝え、学校への行きづらさを抱えた子や保護者を追いつめない社会を作っていきたい。そのことは、誰もが生きやすい地域社会にもつながると思う。

筑後地域の子どもの居場所や親の会について掲載した、パンフレットを作成した。今後、学校や公共機関、必要な方にお届けする。



茶のくに
八女・奥八女

CHANOKUNI YAME OKUYAME